2026年11月６日

各　位

会社名　株式会社アスリナ
代表者名　代表取締役社長 山元 秀樹
（コード番号：3647　東証スタンダード市場）
問合せ先　常務取締役経営管理本部長 髙橋 龍馬
（電話：03-5781-2522）

第三者割当による新株式発行に係る調達資金の資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年10月29日付「第三者割当による新株式及び第11回新株予約権の発行に関するお知らせ」にて公表いたしました、第三者割当による新株式発行に係る調達資金について、資金使途を変更することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、本件は、当初公表した資金使途と異なる用途に一部の金額を充当していたことが判明したため、事後的に資金使途の変更を決議するものであります。

記

１．資金使途変更の理由

当社は、2025年10月29日付「第三者割当による新株式及び第11回新株予約権の発行に関するお知らせ」にて公表のとおり、第三者割当による新株式の発行により調達した248百万円について、系統用蓄電事業に充当することを予定し、2025年10月６日付「系統用蓄電所事業用地、設備及び電力接続権の取得並びに系統用蓄電事業の開始に関するお知らせ」で公表いたしました蓄電所取得費用として全額を充当いたしました。しかしながら、2026年４月23日付「(開示事項の経過）系統用蓄電所事業用地、設備及び電力接続権の取得契約に関する合意解約並びに解約違約金による特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、物件の取得元と合意解約したため、充当した調達資金が返金されておりました。その後、2026年５月14日付「新たな販売用不動産（系統用蓄電所事業用地及び電力接続権）の取得に関するお知らせ」で公表のとおり、新たな販売用不動産として系統用蓄電所の土地及び電力接続権を取得しておりましたが、当該資金の残金の一部について、当初公表した資金使途と異なる運転資金に充当しておりました。

今般、資金使途の変更に係る必要な手続及び適時開示を実施していなかったことが判明いたしましたので、実際の資金充当状況及び事業拡大による増加運転資金を踏まえ、事後的に資金使途の変更について決議することとしたものです。

２．変更の内容

資金使途の変更の内容は以下のとおりです。(変更箇所は下線で示しております。)

＜変更前＞

具体的な使途	金　額	支出予定時期
①　系統用蓄電事業	248百万円	2025年11月～2026年６月
合計	248百万円	

＜変更後＞

具体的な使途	金　額	支出予定時期
①　系統用蓄電事業	156百万円	2025年11月～2027年11月
②　運転資金	92百万円	2026年10月～2026年12月
合計	248百万円	

３．今後の見通し

今後の業績に与える影響について、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以　上